

未来にはばたく

高め合い、つよく！

学び合い、かしこく！

認め合い、あたたかく！

令和6年7月1日
おおたかの森小学校
学校便り 7月号

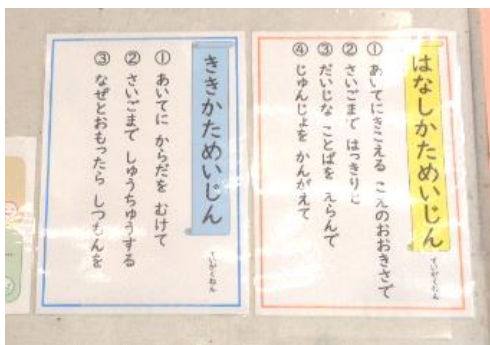


流山市おおたかの森西2丁目13番地の1
Tel 04-7159-7001

<https://schit.net/nagareyama/ootakasyou/>

話し上手は聞き上手！！

校長 角 龍 幸



学年に応じて少し内容は変えていますが、全ての教室に左のような「聞き方名人」「話し方名人」の掲示をして、名人育成に取り組んでいます。今年度は、「高め合い、学び合い、認め合う、愛ある学校」をスローガンに学校教育活動を進めています。お互いに自分の考えを伝え合い、交流を通して学び合い、お互いを高め合える教室にしたい！その根っこの部分に「聞くこと・話すこと」を中心とした言語活動があると考えています。

低学年の聞き方名人には、「①相手に体を向けて②最後まで集中する③なぜと思ったら質問を」と書かれています。まずは話し手の方に体を向けて、最後まで集中して聞く態度が求められています。さらにうなずきながら聞いてくれば、話し手は安心して自分の考えを伝えることができます。この「安心して」という部分が大切です。「安心」の土台の上に、学び合い、認め合い、さらには高め合うという学級の雰囲気醸成されていきます。そういう意味ではどちらがより大切ということではありませんが、まず皆が「聞き上手」になることが愛ある学校の第一歩かとも思えます。**高学年の聞き方名人**は「①話しの要点をとらえて②自分の意見と比較し③最後まで聞いてから自分の意見を」です。「自分の意見との比較しながら聞く」という点が高学年にとって大切です。話を聞きながら、自分の考えとの共通点、相違点を見つけることで自分の考えが整理されていきます。また、最後までという部分は低学年と共通です。高学年でも相手の話を最後まで聞くことは話し手にとっての安心感につながっていきます。もちろんこのことは教員も大切にしなければいけない点です。ただ、自分の言動を振り返ってみると、ついつい相手の話の途中で自分の考えを言いたくなって話してしまうこともある、と反省してしまいます。みなさんはいかがでしょう。子供たちの良い手本となるためにも、しっかり最後まで相手の話を聞くことのできる自分にしていきたい！と改めて考える今日この頃です。

教室の安心感について考えていたら自分の学級でよく歌っていた歌を思い出しました。

みんなで 語ろう 心をなごませて 楽しいときも うれしいときも
みんなで 語ろう 素直に心開いて どんな小さな 悩み事も
心痛む思い たとえ君を苦しめても 仲間がここにいるよ いつも君を見てる
ぼくらは 助け合って 生きていこういつまでも

(「マイ・バラード」より／作詞・作曲 松井孝夫)